



防災学習を振り返って

校長 大石 桂司

10月21日(土)に実施した防災学習では、多くの保護者の方に参加していただき感謝しております。この防災学習は、小学校在学中の6年間で学年に応じた防災に関する内容を学習し、子どもたちの防災に対する意識の向上を図るために2年前から計画をしておりましたが、昨年度は感染症対策のため、授業や体験を参観していただくのみとなっておりますが、今年度は保護者の皆様にも参加していただくことができました。授業参観ではなく、授業参加として一緒に活動していただくことで、防災について家族で話し合う機会ができたと考えております。

さて、現在県内の多くの学校が防災学習に取り組んでいます。防災マップを自分たちで作成したり、地域とともに防災訓練に参加したりと防災に対する意識も高まっています。

本校では学校運営協議会の委員さんに防災訓練の様子を参観していただきました。防災学習の効果的な在り方を検証していただいている最中ですが、これからは地域と共に防災訓練や防災学習に取り組み、緊急時に迅速に対応できる訓練へとつなげていきたいと考えています。

ところで、国分寺南部校区の地震による防災の視点として次の点が挙げられます。

- 校舎は耐震工事が完了しているため、むやみに運動場に避難することは危険であること。
- 津波についての危険度は低いですが、ため池の決壊による浸水、洪水被害が予想されること。

これらのことを考慮するとともに、過去の台風16号(平成16年)の教訓も踏まえ、今後の避難訓練及び防災訓練を実効的な訓練へと改善していこうと考えています。

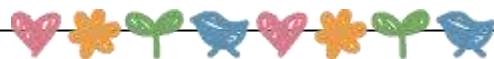
ご家庭でも、今回の防災訓練を機会に、家族で防災について話し合い、通学途中や放課後の防災対策について話し合ってもらおうと幸いです。今後30年の間に南海トラフ地震が起これと言われて久しくなります。緊急時・災害時に自分の命を自分で守れる力を身に付けさせたいと思います。

—すこやか広場—

○生活目標:友だちの輪を広げよう

よりよい友だちとの関わり方を意識しながら、学級の中で、また、学年を超えた活動の中で、友だちの輪を広げていきたいと思ひます。

防災学習：6年煙避難訓練の様子



11月の「強めよう絆 なかまづくり月間」の取り組み

6月の「強めよう絆月間」では、友だちのよいところや新しい学級になって楽しかったこと、頑張っていることなどを見つける取り組みを行ってきました。11月の「強めよう絆 なかまづくり月間」では、人権・同和教育の視点に立った学習を行ったり、朝の会や帰りの会で、友だちのよいところを見つけたりする活動を行っていきます。

そして、11月25日(金)を「人権を考える日」

とし、人権について考える授業を参観していただき、保護者の皆様と一緒に人権について考えていきたいと考えております。この日は、人権・同和教育の視点に立った学習内容を全学年で学習します。参観の後、人権教育講演会も予定しています。お忙しいとは存じますが、ぜひ、ご参観ください。よろしくお祈いします。



